



串本町のサンゴの海(イメージ)

ろうきん串本支店ブロック推進委員会は、近畿の最南端、和歌山県串本の地において、永年「働く仲間の豊かなくらしのため」に“ろうきん運動”に取り組んでまいりました。そして、このたび串本沿岸海域のサンゴ群集がラムサール条約に登録されたのを機に、「ラムサール条約登録応援キャンペーン」に取り組んでいます。これは、ろうきん運動の進展に応じて、「サンゴを食害する動物駆除実行委員会」に寄付をして支援していくものです。

地域に働く仲間がひとつになって、“地域のろうきん運動、みんなの力”で環境保全に貢献しようと頑張っています。

今回、(株)日本旅行が旅行企画・実施される裏面「南紀・串本エコ体験ツアー」は、串本の自然を満喫し、ラムサール条約の美しい海とサンゴを守る体験ツアーとして計画されており、私たちの想いと重なるものです。私たちのサンゴを守るキャンペーンで中心的な人物である御前(みさき)館長が、皆さんに直接、サンゴの保全についてお話しただく機会も設けられているとのこと。遠方ではございますが、この機会にぜひお越しただき、串本地域の労金運動が支えようとしている地域の自然の姿を見ていただければ幸いです。

近畿労金に集う仲間みなさまのネットワークを通して、環境保護の推進などが進み、住み良い社会づくりに少しでも貢献できるようになれば望外の喜びです。



近畿労働金庫
串本ブロック推進委員会
推進委員長
名田 倍也

南紀・串本 エコ体験ツアー へのお誘い

「世界最北」サンゴの海を オニヒトデから守れ!

関西に美しいサンゴの海があるのをご存知ですか? 本州最南端の和歌山・潮岬の海には世界最北の貴重なサンゴ群集があり、2005年11月に世界的に重要な湿地を保全する「ラムサール条約」に登録されました。ところが一方、近年の地球温暖化などで、サンゴを食い尽くし死滅させる天敵のオニヒトデも異常増殖しており、私たちサンゴを食害する動物駆除実行委員会では、全力をあげて健全なサンゴを守るための活動に取り組んでいます。サンゴの生態系に果たす役割、串本の美しい海の保護について、ぜひ多くの方々に知っていただきたいと思っています。

美しいサンゴを守る活動についてお話しします。



サンゴを食害する動物駆除実行委員会
御前 洋代表
(串本海中公園センター館長)

ラムサール条約湿地に登録

1971年イランのカスピ海沿岸の町ラムサールで、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が採択されました。これがラムサール条約で、現在世界147カ国が加入しています。この条約では、水鳥だけでなく、私たちにとっても重要な環境である湿地を保全し、さらに賢明な利用を提唱しています。また、この条約では、湿原や湖沼だけでなくマングローブ林、藻場あるいはサンゴ礁域なども対象とされています。「串本沿岸海域」は、サンゴの種の多様性、熱帯魚類をはじめ多くのサンゴ礁性動物が見られます。北緯33度30分という北にありながら、熱帯性生物群集が豊富にみられる貴重な場所であることから、ラムサール条約湿地に登録されました。



オニヒトデの駆除作業

